

会 議 録（1）〈要約〉

会議の名称	令和2年度 第1回 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	令和2年11月13日（金） （開会）午前10時00分・（閉会）午前11時50分
開催場所	桶川市役所 会議室303・304
主宰者の氏名	
議長の氏名	
出席者氏名 （委員）	岩崎委員、岡野委員、新妻委員、井ヶ田委員、稲元委員 村上委員、西崎委員、竹中委員、町田委員、篠田委員 北川委員、勇委員
欠席者氏名 （委員）	田中委員、小林委員
説明員氏名	
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川辺部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、宇賀神主任、須賀主事
議 題	【概要説明】 （1）桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について
	【議題】 （1）成果指標の達成状況について （2）令和元年度、令和2年度の取組について （3）次期総合戦略の策定について
	決定事項等
会 議 事 項	<p>■ 桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について意見をいただきました。</p> <p>■ 次期総合戦略の策定スケジュール（現計画の期間延長）の延長について了承をいただきました。</p>
配布資料	<p>資料1 桶川市の現状について</p> <p>資料2 桶川市の人口について</p> <p>資料3 総合戦略の概要</p> <p>資料4 国の地方創生と桶川市の主な取組</p> <p>資料5 成果指標の達成状況一覧</p> <p>資料6 駅自由通路往来者数調査結果</p> <p>資料7-1 令和元年度の取組一覧</p> <p>資料7-2 令和2年度の取組一覧</p> <p>資料8 総合戦略の計画策定期間及び計画期間について</p> <p>補足資料1 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿</p> <p>補足資料2 桶川市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱</p> <p>補足資料3 転入・転出アンケート集計結果</p> <p>補足資料4 将来人口推計</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
概要説明 桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について	
事 務 局	資料 1 、 資料 2 、 資料 3 、 資料 4 、 補足資料 3 、 補足資料 4 に基づき、桶川市の現状及び総合戦略と人口ビジョンの概要について説明。
委 員	人口推計について、当初より、人口減少が緩やかになっているのは、どのようなことが要因だと考えていますか。
事 務 局	資料 1・2 にありますように、新市街地となる坂田地区、日出谷地区の人口増が要因として考えられます。これらの地区は、土地区画整理事業の推進と地域生活の拠点形成を進めるとともに、子育て支援事業などソフト面を充実させる施策が奏功しています。また、首都圏への一極集中が続いていることも影響していると考えています。
委 員	現総合戦略の策定当時、基本目標 1「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の中で、働く女性の目線として子どもを預ける場や医療についてどのような議論がありましたか。
事 務 局	人口ビジョン (p22) にありますように、女性の年齢別就業率を見ると、30歳代で一度就業率が下がることが分かります。このようなことから、働く女性が出産後も働き続けられる環境を整備するため、放課後児童クラブの増床などの子育て支援機能や施設、保育サービスの充実などについて取り組むこととしています。
委 員	人口減少は今後確実に訪れます。少子高齢化による生産年齢人口の減少を踏まえ、Society5.0 や AI などを活用した戦略について、どのような考えがありますか。
事 務 局	今後は、人口減少と向き合うまちづくりとなります。国では、生産年齢人口の減少を AI などの未来技術の活用によって補い、生産性の維持、向上を図ることとしています。本市においても、持続可能なまちづくりに向け、未来技術の活用など、必要な施策について検討していきたいと考えています。
委 員	この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、テレワークが進み、都心へ通勤する必然性に変化が生じています。桶川市の強みとして都心から 40 キロ圏を掲げていますが、今後もそれが強みとなるのか考える必要があります。また、立地面で考えると、桶川市のライバルは、都心から 40 キロ圏の神奈川県や千葉県などの自治体です。 補足資料 3 転入アンケート中「転入理由」をみると、手頃な住宅価格・家賃が 1 位となっています。子育て世代に転入していただくためには、不動産価格だけではなく、教育や公園の充実など、子育て関連施策を充実させることも重要であると思いますが、どのように考えていますか。
事 務 局	コロナ禍により、テレワークなど働き方やライフスタイルが変化しています。報道にございますが、これまでの東京一極集中に変化が見られ、直近数か月の傾向では、転入より転出の方が多くなっています。コロナを踏まえた新しい生活様式がどの程度定着するか現段階では分かり

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	ませんが、郊外化が進み、在宅勤務に適した住宅の間取りなど、住まい方にも変化が生じるものと思います。こういったニーズの変化も踏まえながら、教育や防災・減災などに力点を置いたまちづくりを進めていく必要があると考えています。 資料3 にありますように、住宅を取得する子育て世帯などに対して効果的な施策を展開することにより、ライフサイクルの好循環を促したいと考えています。
委 員	桶川市では、自家用車がないと生活できないと思います。生活の移動手段が車であれば、若い人の中には、自然が豊かな加納や川田谷で、家庭菜園付きのゆとりある住生活を希望する方もいると思います。住まい方の選択肢を増やすという観点も人口減少社会では必要だと思いますが、どのように考えていますか。
事 務 局	資料1 図4にありますとおり、桶川市では、生活圏域ごとに生活の拠点を設け、都市機能を集約することによる「歩いて暮らせるまちづくり」を推進することとしています。持続可能なまちづくりの観点も含め、第六次総合振興計画の中で整理していきたいと考えています。
委 員	最近、市街地では、昔からあった商店などが閉店し、空き店舗や空き家が増えています。中心市街地の高齢化が顕著になっており、中心市街地が空洞化していると感じています。このような課題について、どう考えていますか。
事 務 局	駅周辺地区については、ロードサイド型店舗に空きが目立っていることは承知しています。本市は昭和35年当時からの人口急増期に、中心市街地に多くの住宅が建設されました。既に街並みが形成され、お住まいの方々の高齢化や商業需要の変化などによって、空き店舗や空き家などが増えているものと思われます。また、短期的には、コロナ禍の影響もあると思います。人口減少、少子高齢化によるまちづくりの課題として、今後、検討してまいりたいと考えています。
座 長	ベニバナウオークでは、空き店舗が多くなっているように感じます。経営上の判断で、近隣の大型ショッピングモールに移転しているといったこともあると思います。桶川で営業を続けていただき、賑わいを維持するには、どうしたらいいのか考える必要があります。
座 長	今回、委員から出された意見などを考慮し、今後の施策を推進してください。
議題（1） 成果指標の達成状況について	
事 務 局	資料5 、 資料6 に基づき、桶川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果指標の達成状況を説明。
委 員	資料5 (p2) ⑬の「べに花ふるさと館来場者数」が、昨年と比べ大幅に減少していますが、要因は何でしょうか。
事 務 局	降雨により、集客イベントが中止になったことが、主な要因となっています。
委 員	資料5 (p3) ⑰の「製造業従業者数」「製造業事業所数」については、資料のとおり承知しましたが、製造業以外のサービス業も非常に重

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	要になると考えますが、従業者数について把握していますか。
事 務 局	経済センサス基礎調査、サービス業を含む第3次産業の数字では、平成28年が19,225人、平成26年では、18,344人となっており、増加しています。
委 員	将来につながる産業分野として、子育て支援、少子高齢化など社会課題の解決を事業領域とするサービス業の動向も注視する必要があります。次期総合戦略のKPIを設定する際に一考願います。
委 員	資料5 (p1) ①基本目標1の成果指標の達成状況ですが、合計特殊出生率について、(2)施策の効果を図る指標は、全て上向き傾向ですが、(1)成果指標、①合計特殊出生率は下向きとなっています。体系的な指標として考えた場合、矛盾が生じていますが、どのように認識していますか。
事 務 局	(1)成果指標、①合計特殊出生率につきましては、外的要因として社会情勢の影響を受けます。このようなことから、合計特殊出生率は、本市の取組みだけで、コントロールできない部分が多い指標であると感じています。この点については、次期総合戦略の中で改めて検討したいと考えております。
座 長	新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関は対応に追われ、外出自粛要請により里帰り出産が出来ないなど、出産を取り巻く環境が大きく変わっています。コロナ禍による本市の出生数への影響について、傾向も含め把握していますか。
事 務 局	この度のコロナ禍が、本市の出生数にどの程度影響するかは把握しておりませんが、国の発表による全国的なトレンドとしては、出生数は減少しています。
座 長	出産を支援する取組みについては、早い段階で検討する必要があると思います。今回、委員から出された意見などを考慮し、今後の施策を推進してください。
議題(2) 令和元年度、令和2年度の取組について	
事 務 局	資料7-1 、 資料7-2 に基づき、令和元年度の取組と、令和2年度の取組について説明。
座 長	何かご質問などありますか。
委 員	なし。
議題(3) 次期総合戦略の策定について	
事 務 局	資料8 に基づき次期総合戦略の策定について説明
委 員	人口は概ね横ばいですが、 資料2 にあるとおり、世帯数は増加しています。高齢者の単身世帯増も含め、どういったことが原因だと認識していますか。
事 務 局	住宅都市として発展する中で、核家族化や離婚など社会的な要因が影響していると考えています。また、高齢者の単身世帯は、地区の特性によって違いはあると思いますが、中心市街地などを中心に増加している

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	ものと認識しています。
委 員	新型コロナウイルスの影響で、市民のライフスタイルや価値観に変化が生じています。次期総合振興計画は、こういった点も踏まえ策定するという理解でよいですか。
事 務 局	新型コロナウイルス感染症拡大による新しい生活様式の中、市民の価値観やライフスタイルにも変化が生じているものと考えています。コロナ禍で将来計画を策定するのは難しく、現在計画策定を見合わせている状況です。今後、感染拡大の収束状況などを見定め、コロナ後の変容も踏まえた、次期総合振興計画の策定を進めてまいります。
座 長	現総合戦略の計画期間延長について、本会議として異議なしということよろしいでしょうか。
委 員	異議なし。
6. その他	
	特になし